【技術分類】３－３－２　表示器関連／告知・演出機能／予告演出
【技術名称】３－３－２－１　停止図柄によるもの

【技術内容】
停止図柄による予告演出としては、1つの演出内における一時的な停止図柄によるものと、1つの変動内のおける最終停止図柄によるものの2種類に大別される。

一時的な停止図柄による予告演出としては、チャンス目、大当たり確定出目、連続予告などがあり、順目（1・2・3といった数字の並び）や逆目（5・4・3といった順目の逆）、奇数図柄の組み合わせ（3・5・7など）が良く用いられている。これらの演出を組み込むことによって、リーチ非成立時でも大当たりが期待できるだけでなく、変動停止まで大当たりへの期待感を喪失させない演出構成が可能となる。

一方、最終停止図柄による予告演出としては、図柄をストックすることにより、次変動以降における大当たりパターンとなる演出を増加させる演出、もしくは特定演出への発展条件を段階的に満たす演出の発生（何枚集めれば特定演出へ発展するチケットなど）などがある。この場合は次変動以降の抽選確率に影響を及ぼすのではなく、単なる特定演出の発動条件としての役割が主となるが、中には連続予告（３－３－２－６：連続発生によるもの参照）としての機能を持たせたものも存在する。この場合は演出の発生時点での保留内容（保留内での大当たりが発生しているか否か）によっても発生頻度が異なる場合が多く、結果として当演出の発生により、次変動以降に大当たりへの期待感を残す（プレイヤーに対して大当たりが近いように感じさせる）効果もあるが、演出発生時点で存在している保留消化後は、大当たりへの影響はない。

なお、どのような図柄を予告演出とするかは、適宜決定できることに過ぎない。

1.チャンス目
チャンス目とは図柄が特定の並びで停止すると、リーチになっていない状態であっても、再変動などが発生し、リーチや大当たりの発生、もしくは高信頼度演出へ直接発展する停止出目のことを指す。チャンス目を初めて採用した機種は「ＣＲゴジラ※1」（ニューギン）で、以後は同社製機種を始めとし、多数の機種が当機能を搭載している。また、「ＣＲタートルダッシュ」（サミー）のように、変動中に一旦停止し、その出目が予告演出となる「リーチ目」を搭載した機種も存在する。

2.大当たり確定出目
大当たり確定出目とは、特定の並びで図柄が停止すれば、その時点で大当たりとなる出目。大当たり確定となるのは、停止した後に発展するという条件を追加している機種も多く、現在では2R確変大当たり時に良く用いられている技術である。代表例としては「ＣＲ必殺仕事人※2」シリーズ（京楽）の「仕・事・人」などがある。

3.連続予告
停止図柄による連続予告は、特定の図柄の並びで一時的に停止した後、再び図柄変動と停止を行なう演出で、連続するほど信頼度が高まる演出が多い。なお、当演出を用いることで、視覚的に変動回数が多くなる＝多くの抽選を行なっていると見せかける、もしくは期待感を段階的に高める効果もある。中にはパチスロのリプレイ図柄を採用した「ＣＲぱちんこハイサイ」（京楽）のように、ゲーム性の中心的な役割を果たす出目も存在する。

【図 1】リーチ目の例

変動中に全ドラムが一瞬だけ停止し、リーチ目が停止していれば、スーパーリーチ予告となる

（C）Sammy

出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑‘98」、発行年月日：1998 年 2 月 9 日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：70 頁

【出典機種】

ＣＲタートルダッシュＲＸ：サミー株式会社

【図 2】パチンコ機初の「リプレイ図柄」による連続予告の搭載例

リプレイ図柄が並んで停止すれば、再変動が発生し、再変動の回数が多いほど、信頼度がアップする。

(C)KYORAKU

出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイドパチンコ年鑑 2006」、発行年月日：2006 年 1 月 22 日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所　株式会社白夜書房発行、出典箇所：115 頁

【出典機種】

ＣＲぱちんこハイサイ：京楽産業．株式会社

4.図柄ストック、ホールド機能

図柄ストックもしくはホールド機能とは、前回の大当たり図柄やリーチ図柄、停止図柄などをストックし、再変動以降にその効果が継続する、もしくは継承される機能である。搭載機種は非常に限られているが、個性的な演出として、機種の特徴に挙げられることも多い。なお、変動をまたがってこれらの演出が引き継がれる場合には、次変動以降の抽選内容や結果に影響は及ぼさない。

【図 3】図柄ストック機能の解説

左図ではストック図柄（7）で、リーチがかかれば大当たり確定となる

出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2003」、発行年月日：2003 年 1 月 27 日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：43 頁

【出典機種】
ＣＲクレイジーモンスターズ※3：株式会社西陣

【図 4】ハマリ救済機能「ロトリーチケットシステム」搭載

ノーマルリーチハズレ後には「補助券」を入手、「補助券」を 10 枚貯めれば、高信頼度演出となる「大抽選会場」へ移行する。ストック系演出の一形態だが、次変動以降の抽選結果に影響は及ぼさず、「大抽選会場」への移行の発動条件となる演出である。

出典：株式会社エース電研　ＰＡＣＨＩＮＫＯ　ＬＩＶＥ
関連項目「トップページ＞機種情報＞上へまいりまーす※4＞ＬＴＳとは？」
http://www.pachinko-live.com/machine/uehe/04.html
検索日：2007 年 1 月 18 日

【出典機種】
ＣＲ上へまいりまーす※4：株式会社エース電研

【参考資料】
刊行物名：「パチンコ必勝ガイドパチンコ年鑑 2006」、発行年月日：2006 年 1 月 22 日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、43～51 頁

刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2003」、発行年月日：2003 年 1 月 27 日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、115 頁

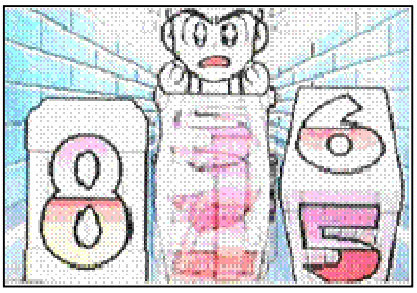
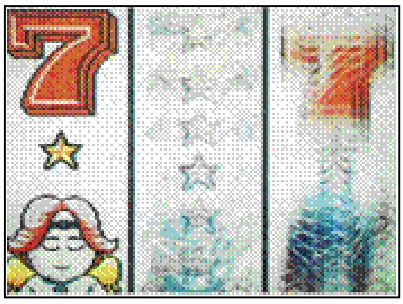
※1「ゴジラ」：東宝株式会社の登録商標
※2「必殺仕事人」：松竹株式会社の登録商標
※3「クレイジーモンスターズ」：株式会社ソフィアの登録商標
※4「上へまいりまーす」：株式会社エース電研の登録商標

【技術分類】３－３－２　表示器関連／告知・演出機能／予告演出
【技術名称】３－３－２－２　変動態様によるもの

【技術内容】
　変動態様による予告演出は、予告演出が登場した初期から用いられている技術で、スベリや戻り、回転など､現行機でもほとんどの機種で採用されている｡演出効果としてはリーチへの期待感の持続、変動開始時から変動中における期待感の創出などが挙げられ、バリエーションも非常に多彩である。
　なお、変動態様は一つの表示内容であって適宜決定できることに過ぎない。

1.スベリ
　スベリとは停止直前の図柄、もしくは一旦停止後の図柄が滑って停止する演出で、主にリーチ予告としての用いられる演出技術である。スベリコマ数によって期待度の強弱を付けたり、スベリ時の視認性を高めるためにフラッシュを伴うパターンなど、数多くのバリエーションがある。

【図 1】変動中のスベリ演出（左）と一旦停止後のスベリ演出（右）

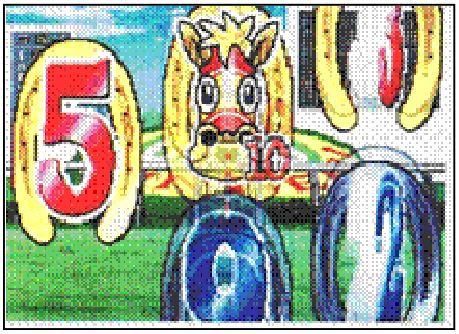
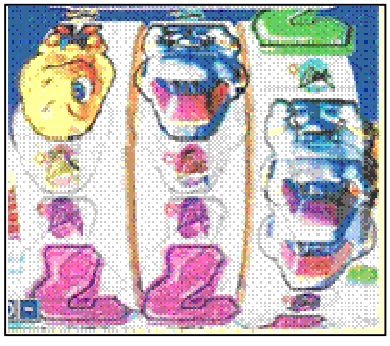



出典：（左）刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑‘97」、発行年月日：1997 年 2 月 9 日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：22 頁
　：（右）刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑‘99」、発行年月日：1999 年 2 月 9 日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：211 頁

【出典機種】
（左）ＣＲ大工の源さん※1：株式会社三洋物産
（右）ＣＲバトルヒーロー※2：株式会社大一商会

2.回転
　図柄の回転は汎用性の高い変動パターンで､スベリとの複合や逆回転などのバリエーションがある。

【図 2】回転を伴った図柄スベリ（左）と逆回転変動（右）

出典：（左）刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2002」、発行年月日：2002 年 1 月 26 日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：76 頁
：（右）刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2002」、発行年月日：2002 年 1 月 26 日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：47 頁

【出典機種】
ＣＲオークス：株式会社サンセイアールアンドディ
ＣＲバトルヒーロー伝説：株式会社大一商会

3.変化
スベリや回転以外にも多数の変動パターンによる予告演出は存在する。

【図 3】図柄をひねる（左）、もしくはクラッシュする（右）変動を用いた演出例

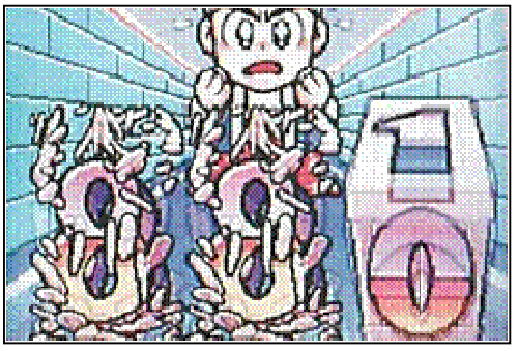
左図では変動開始時に中図柄と右図柄がひねっており、右図では右図柄がクラッシュしている

出典：（左）刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2000」、発行年月日：2000 年 2 月 11 日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：48 頁
：（右）刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2002」、発行年月日：2002 年 1 月 26 日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：80 頁

【出典機種】
ＣＲツモツモ天国※3：豊丸産業株式会社
ＣＲブンドリキング：株式会社平和

4.同調変動、同時停止
パチンコでの図柄停止は、概ね一定の順序に基づいて停止するのが一般的であるが、その法則が崩れた形で変動することによる予告演出も存在する。

【図 4】左右同時変動、同時停止による予告



「ＣＲ大工の源さん※1」は、通常左図柄と中図柄の順に停止するが、左図柄と中図柄が同調し、同時停止すればリーチ確定となる

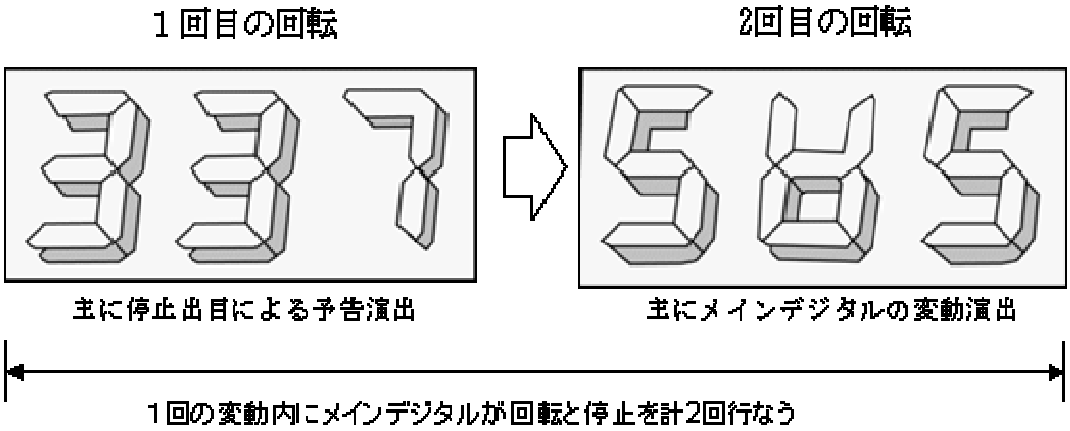
出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑‘97」、発行年月日：1997 年 2 月 9 日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：22 頁

【出典機種】
ＣＲ大工の源さん※1：株式会社三洋物産

5.ダブル変動

変動態様による特殊パターンとしては、1 回の変動で 2 回デジタルが変動する「ダブル変動」を採用した「パープルアイス※4」（銀座）が有名である。当機種の場合は、1 回転目の回転と停止出目が主に予告演出となり、2 回目の回転で抽選結果が表示される。

【図 5】ダブル変動の解説



出典： 本標準技術集のために作成

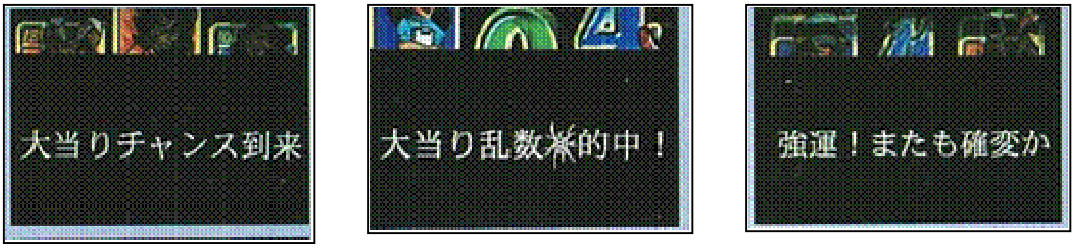
1 回目の回転で表示された数字（左上図では 337 が該当）が予告演出となり、次いで 2 回目の変動で左、右の順に同数字が停止するとリーチ（右上図では 5 のリーチ状態を示す）となる。なお、2 回目の回転を示す図における中央の数字は、数字が変動中であることを表している。

※1「大工の源さん」：アイレムソフトウェアエンジニアリング株式会社の登録商標
※2「バトルヒーロー」：株式会社大一商会の登録商標
※3「ツモツモ天国」：豊丸産業株式会社の登録商標
※4「パープルアイス」：アビリット株式会社の登録商標

【技術分類】３－３－２　表示器関連／告知・演出機能／予告演出
【技術名称】３－３－２－３　文字表示によるもの

【技術内容】
　文字表示による予告とは、キャラクターや図柄による演出ではなく、文字を表示することによって、リーチや大当たりの到来、信頼度を直接告知する演出である。当予告の発生時には、セリフや音声を伴い、その内容を文字で表示するケースもある。他の演出とは異なり、ゲーム性に対する予備知識を有さなくても、理解しやすいのが特徴である。
　なお、文字表示内容は、適宜決定できることは言うまでもない。

【図 1】文字表示による予告演出の例　タイプライター予告



　左図では大当たり予告、中図では大当たり確定、右図は確変大当たり予告となる。
出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2001」、発行年月日：2001 年 2 月 9 日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：17 頁

【出典機種】
ＣＲ不二子におまかせ※1：株式会社平和

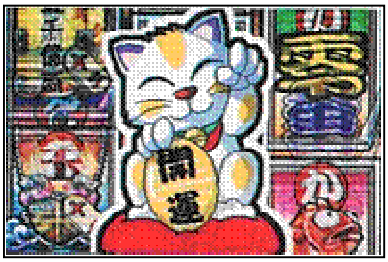
※1「不二子におまかせ」：株式会社平和の登録商標

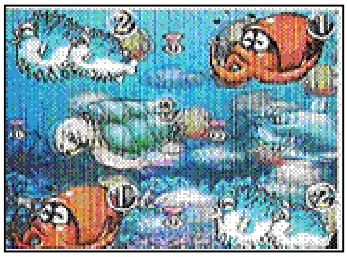
【技術分類】３－３－２　表示器関連／告知・演出機能／予告演出
【技術名称】３－３－２－４　キャラクター出現によるもの

【技術内容】
キャラクター出現による予告演出は、現行機の中でも最も多く用いられている技術の一つ。その理由としては、バリエーションを設けやすく、かつタイアップ性を向上させることに有用であるためでもある。また、バリエーションや出現パターンも豊富で、探究的要素（プレミアムキャラクター）などが内包されている機種が多い。
キャラクター出現による予告演出は大きく分けて、「ステップアップ」に代表される発展型を持つものと、「キャラ」に代表される単体の出現によるものに分類される。
なお、演出の表示内容は適宜決定できることに過ぎない。

1.単体出現の予告
キャラクター単体の予告としては、キャラや群などが挙げられる。主にキャラクターの種類や数、大きさによって、信頼度の高低を設けている機種が多い。なお、出現箇所が定められていない単体での信頼度アップ予告は「ランダム」と称されるケースもあり、ランダム出現の信頼度アップ演出を盛り込むことで、変動開始時から図柄停止時まで、大当たりへの期待感が持続しやすくなる効果がある。

【図 1】キャラクター予告の代表例　招き猫予告（左）と魚群予告（右）





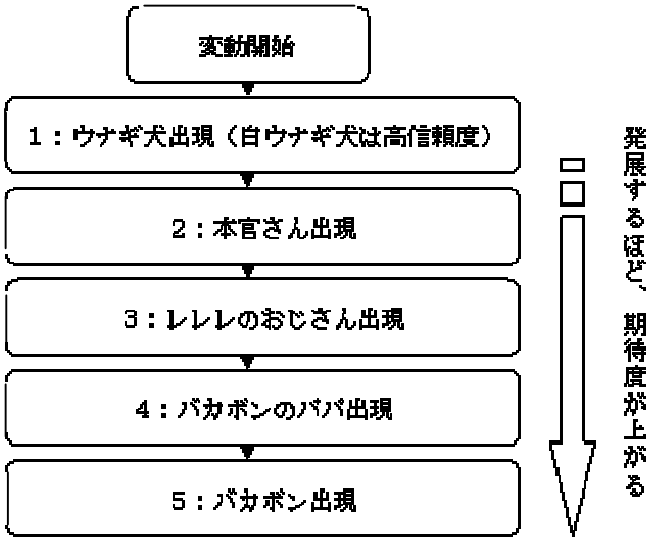
右図の魚群予告は高信頼度予告の代名詞的な位置付けとして、数多くの機種に採用されている

出典：（左）刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2001」、発行年月日：2001 年 2 月 9 日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：76 頁
：（右）刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2001」、発行年月日：2001 年 2 月 9 日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：234 頁

【出典機種】
ＣＲ縁起マン※1：株式会社平和
ＣＲギンギラパラダイス※2：株式会社三洋物産

2.ステップアップ・ハプニング
ステップアップとはキャラクターが段階的に出現し、発展するほど大当たりへの期待度が高まる演出である。「ＣＲ天才バカボン※3」シリーズ（大一）で初めて搭載され、当演出の有効性が市場に認知されるにつれ、現在では非常に多くの機種が当演出を採用し、かつ予告演出の軸としての位置付けになっていることが多い。
一方、ハプニングとはステップアップのように発展フローが固定されていない発展型演出を指す。変動中のどのタイミングからも予告が発生し、かつ複数の演出パターンと高信頼度演出を搭載しているため、変動中における期待感を損ないにくい効果がある。

【図 2】ステップアップ予告の発展フロー例



出典：（左）刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2002」、発行年月日：2002 年 1 月 26 日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：24 頁
：（右）本標準技術集のため作成

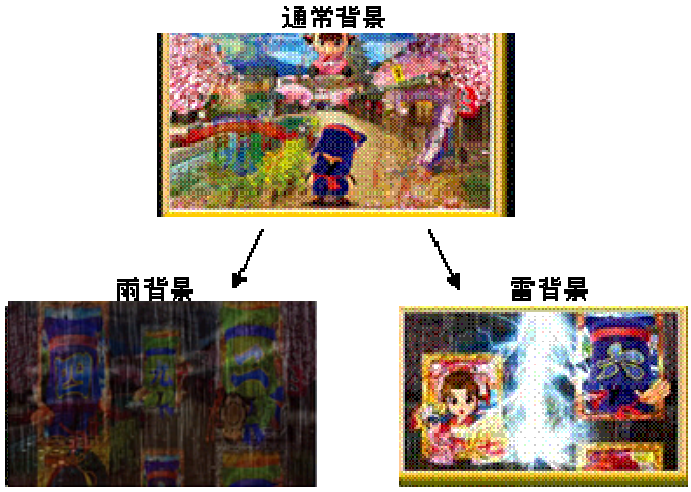
【出典機種】
ＣＲ天才バカボン※3：株式会社大一商会

※1「縁起マン」：株式会社平和の登録商標
※2「ギンギラパラダイス」：株式会社三洋物産の登録商標
※3「天才バカボン」：株式会社フジオ・プロダクションの登録商標

【技術分類】３－３－２　表示器関連／告知・演出機能／予告演出
【技術名称】３－３－２－５　画面変化によるもの

【技術内容】
画面変化による予告演出としては、背景変化やカットイン、消灯、フラッシュが挙げられる。このうち、背景変化とカットインとの違いとしては、背景変化が背景の色や風景、季節、時節の変化などの部分的な変化に留まるのに対し、カットインでは背景とは別個の演出や映像が瞬間的に挿入される点である。両演出共に現行機で多用されているが、背景変化は主にリーチ予告などの弱性の効果演出、カットインは信頼度アップ等の大当たりへ直接関連しやすい演出に用いられることが多い。
なお、画面変化も一つの表示内容であって、どのような画面変化を行うかは適宜決定できることに過ぎない。

【図 1】背景変化の例



出典：株式会社ニューギンホームページ
関連項目「トップページ＞機種紹介＞2006 年＞ＣＲ新大江戸日記※1＞予告アクション」
http://www.newgin.co.jp/pub/machine/sin_ooedo/yokoku.html
検索日：2007 年 1 月 18 日

【出典機種】
ＣＲ新大江戸日記※1：株式会社ニューギン

【図 2】カットイン演出の例

出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2000」、発行年月日：2000 年 2 月 11 日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：16 頁

【出典機種】
ＣＲドルフィンリング※2：株式会社平和

【図 3】パチンコ機初となる「3 層構造画面」を予告演出に採用した機種の例

大当たり図柄とその周囲の装飾、背景がそれぞれ独立して変動し、その組み合わせによって、信頼度が変化する「3 層構造の画面」を採用。

出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2001」、発行年月日：2001 年 2 月 9 日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：5 頁

【出典機種】
ＣＲキャットジラ※3：株式会社平和

※1「大江戸日記」：株式会社ニューギンの登録商標
※2「ドルフィンリング」：株式会社平和の登録商標
※3「キャットジラ」：株式会社平和の登録商標

【技術分類】３－３－２　表示器関連／告知・演出機能／予告演出
【技術名称】３－３－２－６　連続発生によるもの

【技術内容】
連続予告には次変動をまたぐ保留内での連続予告と１変動内での疑似連続予告の２種類に大別される。連続予告の効果としては、連続発生することによる段階的な期待感の増幅、リーチ非成立時における期待感損失の緩和などが挙げられる。
現行機では１変動内での連続発生となる疑似連続予告が多用され、大当たりに直結する高信頼度演出として採用している機種も多い。また、下図に挙げた以外にも「ＣＲフィーバー大ヤマト２」（三共）などで用いられているチャンス目の連続停止、「ＣＲぱちんこ水戸黄門」（京楽）の連続ロゴフラッシュなどのパターンがある。なお、演出（予告）の表示内容は適宜決定できることである。

【図 1】連続予告の例　スクエアフラッシュ

メインデジタル周囲の 7 セグが連続してフラッシュする。発生時点の保留内で連続する、大当たりの前兆的な演出である。

出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑‘99」、発行年月日：1999 年 2 月 9 日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：25 頁

【出典機種】
ＣＲデラマイッタ※1 Ｊ－３：豊丸産業株式会社

【図 2】液晶画面における連続予告の例　赤短予告

(C)KYORAKU
出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑‘98」、発行年月日：1998 年 2 月 9 日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：54 頁

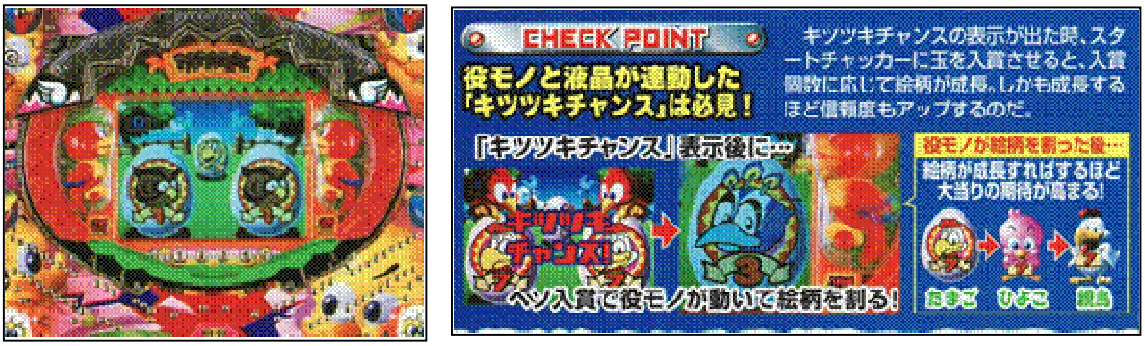
【出典機種】
ＣＲ華観月：京楽産業．株式会社

※1「デラマイッタ」：豊丸産業株式会社の登録商標

【技術分類】３－３－２　表示器関連／告知・演出機能／予告演出
【技術名称】３－３－２－７　プレイヤー参加型

【技術内容】
　プレイヤー参加型の予告演出には、プッシュボタンなどの枠に据え付けられている入力装置を用いる演出と、始動口入賞を演出の発生条件とする 2 種類が存在する。
　現行機では入力装置の操作によって、発動する演出が主体となっており、キャラクターの出現や画面変化を生じさせる演出、リーチ選択を行なう演出選択型演出などで多く用いられている。
　一方、後者の機能を演出内に組み込む機種は少なく、「ＣＲぴよぴよパーク※1」（西陣※2）を始めとした数機種のみに搭載されている。
　なお、演出の表示内容は適宜決定できることでる。

【図 1】始動口への入賞を起点とするプレイヤー参加型予告の例　「キツツキチャンス」



出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2003」、発行年月日：2003 年 1 月 27 日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：23 頁

【出典機種】
ＣＲぴよぴよパーク※1：株式会社西陣

※1「ぴよぴよパーク」：株式会社ソフィアの登録商標
※2「西陣」：株式会社ソフィアの登録商標